

平成 26年2月3日(月)発行

道建協とうほく

No 55

発行 一般社団法人 日本道路建設業協会
東北支部 広報委員会



【広瀬川】仙台市青葉区米ヶ袋
(撮影：広報委員 木目澤)

目次

年頭所感	-----	1
行事報告	-----	2
対外活動	-----	8
幹事会・委員会活動	-----	9
随想	-----	11
会員だより	-----	13

年 頭 所 感

「復興の加速と道路建設産業の再生」



支部長 松 谷 健 一

昨年、安倍自公政権は発足して1年あまり、アベノミクスの効果より、ようやく明るい兆しが見え、道路建設業を取り巻く環境にも改善の兆しが見え始めたところです。また東北支部管内では東日本大震災から3年の節目を迎え、震災復興道路事業が本格化し、道建協 東北支部会員各社は復興道路、復興支援道路はもとより、各発注機関の震災復興道路事業に多くの参画をしております。

しかし、復興の加速化が叫ばれる中、技能労働者、資機材不足等が深刻化しており、今年以降の先行きは誠に不透明であると言わざるを得ません。これらの課題については各発注者側とも認識を共有しており、種々の対策、取組みが実施されていることは誠に歓迎すべきことです。今後とも関係機関との意見交換、情報交換を更に進め、期待されている早期復興に向け、協会員が一致団結し、知恵を出し合っこの難局を乗り切りたいと存じます。

また建設産業の再生、成長の観点から、中長期的な人材確保は避けて通れない大きな課題であります。なかでも優秀な技術者確保のための労働環境の整備は重要な施策の柱であります。一昨年より東北支部においても「魅力ある職場の構築」のため、第2土曜閉所運動を実施して参りました。昨年11月をこの強化月間としてPRに努めましたが、特に被災3県では工事量の著しい増加の為か、なかなか満足のゆく結果ではありませんでしたが、今後ともこの土曜閉所運動を積極的に進め、労働環境改善に努めたいと存じます。

一方、本年4月より消費税が増税され、我々業界にとって、少なからず影響があると考えられますし、2014年度予算についても削減方針が一時発表されるなど厳しい局面の可能性も捨てきれず、特に被災地域以外の道路整備事業には一抹の不安を抱いております。このことに関し、道建協本部の政府、与党に向けた要望活動を見守ると共に、東北支部においても各発注機関にむけ、各地域の現状を訴え続けていきたいと存じます。

本年も何卒、皆様方のご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

行事報告

1. 総合防災訓練

東北地方整備局と合同で防災訓練を9月2日に実施することで計画していましたが、台風15号接近のため延期となり、11月19日に実施することになりました。しかし11月19日の朝も日本海側では100mmを超える豪雨に見舞われ災害発生への恐れが生じたため整備局側の訓練は急遽中止となりました。

支部としては、予定した(リエゾン派遣訓練は、整備局並びに秋田河川国道以外の事務所を訪問し情報の手渡しを実施)8項目の訓練を実施しました。

今回の訓練は、未曾有の災害をもたらした「東日本大震災」時の経験・評価・反省を踏まえ、真っ先に求められる人命救助や地域住民の安全・安心を一刻も早く確保するための支援に徹した「全国初動訓練」とし、次の4つを重点方針に実施しました。

- ・本部、全国10支部が一体となった訓練
- ・東北地方整備局及び各県の6事務所に「リエゾン」派遣訓練
- ・人命救助や被災者が必要とする緊急支援物資の全国調達訓練
- ・道路啓開に必要な資機材(A s 合材・砕石・重機等)保有の情報提供訓練

「道建協」として自主的に取りまとめたものや東北支部が平成22年8月からWeb上に公開している「防災マップ東北地区アスファルトプラント位置図」により得られるものなど下記の3つの情報をリエゾンが持参しました。これらの情報は整備局や各河川国道事務所が初動防災活動を進める上で高い評価を得てきているものです。

調達可能資機材リスト

被災地近傍の工事現場からの調達可能リスト

道路復旧資機材(A s 合材・砕石・重機等)調達可能リスト

今回の訓練では、整備局の突然の訓練中止に対する臨機な訓練実施や、本部をはじめ全国の支部の協力を得ることができ、改めて全国展開する「道建協」の強さを認識しました。



2.平成25年度 委員会活動報告会・年末懇談会

開催日 平成25年12月11日(水)

場 所 ホテルメトロポリタン仙台 3階 「曙」

参加者 会員 約80名

次 第

1) あいさつ 松谷支部長(要旨)

- ・支部活動に対する会員への御礼
- ・一部行事を除き、当初計画した年間活動については、概ね遂行することが出来た。
- ・技術者や作業員の不足、資機材の供給のひっ迫感は、来年以降も続くものと思われ、発注機関と認識を共有し、復興道路の早期完成に向け努力したい。
- ・平成26年度公共事業予算の削減方針が発表されるなど厳しい局面も予測されることから、道路整備に関する本部の要望活動を支部としても期待をもって見守りたい。
- ・高齢化が甚だしく後継者の育成が急務であり、新規社員確保のため第2土曜日の統一閉所や社会保険加入促進を図るなど職場環境の整備に務められたい。
- ・支部運営について、引続きご理解とご協力をお願い致したい。



2) 委員会活動報告

企画運営委員会(近藤 雅孝 幹事長)

- ・東北地方整備局との意見交換会の報告
- ・舗装施工管理技術者資格試験並びに舗装施工管理技術者技術講習について
- ・公益社団法人日本道路協会表彰について
- ・アスファルト混合物事前審査制度について

広報委員会(清水 俊介 委員長)

- ・支部広報誌「道建協とうほく」について
- ・道の駅へのAED寄贈について
- ・ボランティア活動について

技術委員会(石井 孝道 委員長)

- ・東北地方整備局からの要請による意見交換について
- ・EE東北'13について
- ・NEXCO 東北支社舗装技術検討会について
- ・アスファルト混合物事前審査制度の立入調査委員について

公共工事委員会(松澤 洋 委員長)

- ・東北地方整備局との道路建設に関する研究会について
- ・NEXCO 東北支社との意見交換について

安全環境委員会（宮村 博三 委員長）

- ・安全優良工事の表彰について
- ・安全環境講習会について
- ・安全パトロール、官民合同安全パトロール、NEXCO 安全パトロールについて
- ・東北地方工事安全施工推進大会（SAFETY 2 0 1 3）について

防災委員会（杉崎 匡孝 委員長）

- ・防災協定（整備局、NEXCO）の更新について
- ・総合防災訓練について

4) 講 話

～道路建設業協会の活動と今後の課題～

（一社）日本道路建設業協会 副会長兼専務理事 横田 耕治

【講話内容】

持続的な道路建設業界のために
安定した社会資本整備の確保に向けて
中長期のグランドデザインの必要性
入札契約制度の大幅見直し



【年末懇談会の部】

活動報告会に引き続き、会場を21階のスカイホール銀河に移して、年末懇談会が開催されました。松谷支部長からの挨拶ではじまり、近藤幹事長の乾杯の発声で歓談の場に移りました。一同会しての懇談会は一年振りで話が弾んでいたようでした。料理が良かったのか夜景が良かったのか、参加者からの評判がすこぶる良好で「次回もこの場で」との声もありました。盛会のなか中締め時刻が到来し、清水広報委員長の音頭で閉会となりました。



3. アスファルト混合物事前審査

【第68回 アスファルト混合物事前審査委員会】

日 時：平成25年12月19日（木）

場 所：ハーネル仙台

昨年9月に申請のあった32混合所535混合物の審査を行い、全ての混合物が認定されました。なお、砕石・砂等の骨材不足に対応する追加認定の申請はありませんでした。



4. 平成26年 安全祈願

日 時：平成26年1月22日（水）

場 所：櫻岡大神宮（仙台市青葉区西公園）

出席者：松谷支部長、近藤幹事長、
宮村安全環境委員長、原副委員長、
安全環境委員ほか 14名

【松谷支部長 記者会見要旨】

- ・震災後は、各社ともに仕事量が増加して多忙を極め、それに比例するように事故も増加しているが、最低限の社会的責任として絶対に重大災害を起こさないという決意を新たにしたい。
- ・新設工事や路上工事が増えてきており、現場で働く人や第三者への安全確保についてPRしていかなければならない。
- ・現道工事がらみの工事の安全対策に関しては我々だけでは出来ない部分もある。再発防止を含めて発注者と一緒になってパトロールを行うなど、これまでの取組みを継続していきたい。



【写真提供 (株)建設新聞社】

対 外 活 動

(H25/11/1～)

1. 東北地方整備局関係

【「E E 東北' 14」実行委員会(第1回)】

開催日：平成25年11月7日(木)

場 所：フォレスト仙台

出席者：松谷支部長、近藤幹事長代、石井技術委員長

議 題： 「E E 東北' 13」決算・監査報告

「E E 東北' 14」実施方針案

今後の予定ほか

【道路建設に係わる研究会】

開催日：平成25年11月15日(金)

場 所：ホテル法華クラブ仙台

出席者：松澤公共工事委員長、佐藤、秋山、手塚、若狭、田澤、大山委員

整備局：技術調整管理官、道路情報管理官ほか7名

議 題： 受注者の現状について

これまでの要望事項と対応状況

改善要望

【「工事の総合評価落札方式における一括審査方式(二極化試行案)説明会】

開催日：平成25年11月25日(月)

場 所：いわて県民情報交流センター(アイーナ)

聴講者：会員 5名

開催日：平成25年11月27日(水)

場 所：仙台国際センター

聴講者：会員 45名

【建設資材対策東北地方連絡会(第3回)】

開催日：平成25年12月25日(水)

場 所：宮城自治労会館

出席者：阿部委員、事務局畠山

議 題： 復興加速化会議の情報提供について

建設資材の需要見通し等について

課題・問題点と対応状況等について

対応策等に関する意見交換

【年始あいさつ】

実施日：平成26年1月7日(火)

場 所：東北地方整備局

出席者：松谷支部長、近藤幹事長ほか

2. 東日本高速道路㈱東北支社関係

【東北支社 工事安全協議会安全パトロール】

開催日：平成25年11月5日（火）

場 所：相馬工事事務所

出席者：永澤、荒瀬原委員

【年始あいさつ】

実施日：平成26年1月7日（火）

場 所：NEXCO 東北支社

出席者：松谷支部長、近藤幹事長ほか

【「一括審査方式」説明会】

開催日：平成26年1月9日（木）

場 所：NEXCO東北支社

出席者：(NEXCO WG)

技術委員会：高橋代佐藤、佐藤代堂尻、吉野、山本、浅田、永澤、鈴木代小杉

公共工事委員会：小池、畑、齊藤、阿部雅、事務局松原

3. 後援行事等

【新春賀詞交歓会（宮城県警備業協会 主催）】

開催日：平成26年1月15日（水）

場 所：江陽グランドホテル

出席者：原安全環境副委員長



【松島】福浦島と福浦橋
（撮影：広報委員 木目澤）

幹事会・委員会活動

(H25/11/1~)

1. 幹事会

【第4回】

開催日：平成25年11月14日(木)

出席者：松谷支部長(代)、近藤幹事長、幹事10名

(石井、大西、菅野(代)、齋藤、清水、杉崎、原、松澤、皆川、宮村)

議事：活動の概況について(9/18~)

全国支部長・幹事長会議の報告

委員会活動報告会について

【第5回】

開催日：平成26年1月22日(水)

出席者：松谷支部長、近藤幹事長、幹事10名

(石井、大西、菅野、齋藤、清水、杉崎、原(代)、松澤、皆川、宮村)

議事：活動の概況について(11/14~)

本部の要望活動について

協会表彰候補者の推薦について

2. 安全環境委員会

【第4回】

開催日：平成25年11月14日(木)

出席者：宮村委員長、原副委員長、委員11名

(伊藤勝、鈴木、秋山、佐藤、大谷、伊藤忠、佐々木、高木、永澤、荒瀬原、北原(代))

議事：安全パトロールの実施結果について

支部長表彰工事の選考

【第5回】

開催日：平成26年1月22日(水)

出席者：宮村委員長、原副委員長、委員11名

(伊藤勝、鈴木、秋山、佐藤、大谷、伊藤忠、佐々木、高木、永澤、荒瀬原、北原(代))

議事：安全パトロール点検表の改定について

平成26年度安全講習会の日程について

支部長表彰工事の推薦について

3 . 広報委員会

【第3回】

開催日：平成25年11月26日（火）

出席者：清水委員長、齋藤副委員長、委員11名

（佐藤八、内海、三澤、大澤、木目澤、柴田秀、伊藤、泉山、宮本、柴田孝、佐藤敏）

議 事： A E Dの寄贈先について
「道建協とうほく」について
活動報告会について
ボランティア活動等について

【第1回WG】

開催日：平成26年1月22日（水）

出席者：清水委員長、齋藤副委員長、委員7名

（佐藤八、三澤、柴田秀、伊藤、泉山、宮本、佐藤敏）

議 事： ボランティア活動等について
～ふくしま浜街道・桜プロジェクト～

3 . 公共工事委員会

【第2回WG】

開催日：平成26年1月10日（金）

出席者：佐藤、熊本、手塚、鎌田、若狭、大山委員

議 事： 現道工事の実態について
本部と整備局の意見交換会議題について

随 想

「自然と私」

大成ロテック株式会社 東北支社
常務執行役員支社長 近藤 雅孝



仙台に赴任してきまして、早や七年の歳月が過ぎようとしております。今回の寄稿にしましては、私の個人的な趣味について書かせていただきます。

仙台に赴任し生活するようになり、私の趣味が一つ増えまして、その趣味は魚釣りです。今から五年前（東日本大震災発生二年前）に、当社社員に釣りに連れていかれたのが、気仙沼市唐桑町の沖合でした。その日同行した13名の社員は、前泊夜のコンパの飲みすぎで4名の社員が釣り糸も垂れず、船酔いで船室で寝ていた状態でした。この時、私は生まれて初めて釣船に乗船し、船酔いもなく釣果も一番で、30cmクラスのアйнаメを連発して釣り上げた記憶がございます。これが自信となり、病みつきとなり、魚釣りにのめり込んでいくのです。

東日本大震災前の二年間、カレイ、アйнаメ、ヒラメ、サバ、アジ、メバル、ワラサ、タラ……釣竿、リール、電動リールと道具も揃え、平均月2回の釣行脚でした。東日本大震災後の二年間は、さすがあの惨劇を目のあたりにし、釣りに行く気にもなれず、たまに塩竈港、閑上、巨理へは行ってみるものの、釣りに行こうという気力は湧いてきませんでした。

震災後二年以上経過した、去年6月に会社協力会主催でカレイ釣り大会を開催し、二年ぶりに釣り船に乗船し徐々に復興していく港を眺めながら、広い大海原に釣り船は進んでいきます。乗船して大海原を眺めている私の心の中は、こんな大災害の惨事後釣りなんかやっていたのか、まだ遺体も上がらない家族もいるのにと、感傷的になりながら海をぼんやりと眺めていました。でも、海を眺めながらその自然の雄大さ、自然の抱擁力にすっかり包み込まれ、自然の中に身を置いてしまっているのです。この時二年前の惨事をすっかり忘れ、海の素晴らしさに日常のストレスから解放されている自分がいるのです。

自然は我々にとって災害時脅威であり、惨事を引き起こす源ではありますが、自然からの恵み、癒しをこれからも大切にし、自然と向き合っていきたいと思っております。

下の写真は、去年釣り上げた90cmのヒラメです。去年はヒラメが大量に釣れ、また大地震の前兆かと心なしか心配してる今日この頃です。

本年も新しい年が始まりました、道建協会員各位のご健勝、ご発展をお祈りいたします。



H25/8/3 第七きくしん丸

ふるさと「門司港」について

地崎道路株式会社 東北支店
支店長 朝比奈 和徳



「門司港」ときいてわかる方はいらっしゃるでしょうか。先日のNHK「ゆく年くる年」で紹介されたので、ご覧になった方もいらっしゃるかもしれません。

「門司港」は、福岡県北九州市門司区にあり、九州の北東部に位置し、本州から、関門トンネル、関門橋を渡ってすぐの町です。いわば九州の玄関口です。北九州市は昭和38年に、門司、小倉、戸畑、八幡、若松の5市が合併し誕生しました。合併当時から人口105万人程度でしたが、公害、鉄冷え等により人口が減少し、今では97万人程度になっています。国内の人口100万人以上の都市で100万人を切ったのは北九州市くらいだと思います。「門司港」もメインの栄町商店街で店じまいする店等が増えていき、寂れてしまいました。

「門司港」の開港は明治22年。明治の後半から横浜、神戸と並ぶ国際貿易の一大拠点となり、その後、北九州の工業力と結びついて大陸貿易の基地となり、最盛期には、1ヶ月に200隻近い外航客船が入港し、国内航路を含めて年間600万人近い乗降客がいたそうです。街には海運会社や商社などの西洋建築物が次々と建てられました。盛り場には、洋行客相手の店も多く、華やかに盛り上げていました。私も若い頃、片言の英語で外国人と飲み屋で話したりしたものでした。

そこで、寂れていく「門司港」を何とかするために北九州市は1988年より明治末期より大正にかけて建てられたJR門司港駅、旧九州鉄道本社、旧大阪商船門司支店、旧門司三井倶楽部、旧門司税関、旧日本有線門司支店等をJR門司港駅近くの第一船だまり周辺に移築し、1995年に大正ロマンあふれる「門司港レトロ地区」として売り出しました。そして、すぐその関門海峡には、宮本武蔵と佐々木小次郎決闘の地である巖流島（下関市）もあります。また、最近では焼きカレーやバナナのたたき売り発祥の地としても知られるようになりました。現在では、年間200万人から250万人の観光客を集めるそうです。

私は、毎年帰省して「門司港レトロ地区」に行きますが、自分のふるさとが少しでも復活してくれば良いなと思って見えています。皆様も、もし九州に行く機会がございましたら、是非お寄りいただければ幸いです。



【門司港レトロ地区】



【下関から関門橋・門司港を望む】



【関門橋】

会員だより

「ネコとの生活」

東京舗装工業株式会社 東北支店
米倉 博子

我が家には1歳半のネコがいます

ある日、発泡スチロールに入れられて玄関の前に置かれていました。目も開いていないどころかへその緒もついた状態で、生まれて一週間前後というところですよ。

近くの動物病院へ連れて行き、ネコの状態を診てもらいました。この時すでに我が家ではこの子を飼うということを決めていたので、世話について指導を受けました。昔から動物は飼っていましたが、生まれて間もない赤ちゃんは初めてで、陽が昇る前から数時間毎にミルクを与え、トイレも(まだ自発的に出来なかったので)こちらから促す等、まさに「初めての子育て」でした。

言葉が通じないため何を要求しているのかわからず苦労した時期もありました(外出中に鳴き声の幻聴に悩むことも)。しかし徐々にネコの生活リズムに慣れてきて、早起きの甲斐もあり(?)、すくすくと育ってくれました。ネコと一緒に生活をするようになって、「相手の行動を分析する」という視点を持つことが出来ました。ネコという生き物は気まぐれだとか行動が読めないとよく言われます。言葉も通じないため、「何故今鳴いているのか?」「何をしたいのか?」等、一つ一つの行動に着目することで、生態を理解していくようになりました。私のことは「一緒に遊んでくれる人」という認識のようで、おもちゃを咥えて私のもとへ来ます。普段から私の後ろをトコトコと追い掛けたり、時には待ち伏せをして物陰から飛び出して驚かすことがあります。

成長するにつれ跳躍力もつき、最初は玄関のフローリングでお迎え、次は靴箱の上から、階段の6段目から...と、高いところに上れるようになったことを知らせてくれます。今は棚の上から我々家族を監視するのが日課のようです。季節柄、暖かい所から離れず遊ぶ機会が減って寂しい反面、家族が揃う空間に安心して眠る姿を観察・撮影するのが楽しみです。

犬派だった我が家も今ではカレンダーや小物などネコがモチーフの生活用品が増えました。それでも「うちのネコが一番可愛い」と必ず口にしてしまう位、すっかり“ネコ中心の生活”になっている我が家です。



「久しぶりの新潟」

本間道路株式会社 仙台工事事務所
鈴木 裕子



私が勤務している本間道路が仙台市に営業所を構えたのは平成10年ですが、東日本大震災以降、復旧工事を中心に工事量が増加したことから、昨年1月に仙台市に隣接する富谷町に工事事務所を開設しました。この工事事務所が私の職場で、昨年9月からお世話になっています。今回紹介させていただくのは、入社にあたり本間道路の本社がある新潟市を訪れた際のことです。

仙台から新潟へは高速バスで約4時間。東北自動車道から磐越自動車道を通って本社へと向かいます。この道路は震災後いち早く応急復旧し、被災地支援の大動脈として活躍した道路です。市内に入り、有名な万代橋からさらに河口へ、新潟港にほど近い信濃川左岸に本間道路の本社はあります。

一通りご挨拶した後、入社にあたっての説明をしていただく中で、新潟の「位置づけ」の話になりました。「新潟は電気こそ東北電力の管内ですが、ガッチリまとまっている東北6県とは違い、立ち位置が今一つはっきりしないんです」「北陸地整の本局は新潟市にありますが、選挙の比例ブロックは北陸信越、NHKの天気予報が関東甲信越で、愛知や静岡、長野と同じ中部ブロックに一括りされることもあります」

ただ、本間道路の営業エリアでみた場合、従来から福島県・会津地方とは結びつきが強く、近年では福島・宮城・山形での施工実績も増えつつあるとのこと。「東北工事事務所で東北全般の工事をカバーしてほしい」との期待を寄せられ、身の引き締まる思いで帰路につきました。

プライベートで訪れた新潟の印象は、雪・カニ食べ放題・高かったガソリンなどですが、今回の新潟訪問では別の一面を垣間見た気がします。(ちなみに本社の辺りは、冬場の積雪もほとんどないとのことでした!!)

とりとめのない話となりましたが、今後ともよろしく願いいたします。



【新潟市公式観光情報サイトより】
<http://www.nvcb.or.jp/index.html>

編集後記

道建協とうほく No.55 担当

木目澤 祐二（東亜道路工業(株)東北支店）

大澤 哲夫（大成ロテック(株)東北支店）

平成25年度3回目の広報誌発行に際し、大変お忙しい中、ご寄稿いただいたみなさま、ご協力ありがとうございました。

最近日本のプロスポーツ選手が、海外の名門クラブへの移籍がよく話題となっています。プロ野球では東北楽天ゴールデンイーグルスの田中将大選手がニューヨークヤンキースへ高額な契約金で移籍が決まり、昨年日本一に輝いた実績を引上げ世界一を目指しています。サッカーでは日本代表エースの本田圭佑選手がACミランに移籍しました。本田選手は強気な姿勢を崩さずデビュー戦から活躍し強い信念を原動力とし進化し続け世界一のプレイヤーを目指し頑張っています。このような方たちの話題を耳にするとわくわくするのは私だけでしょうか？今までもたくさんの方が世界で活躍されてきたことだと思いますが、楽しみでならないのと同時にすごい刺激を受けています。私も学生時代からずっと運動をしてきました。ここ最近体があまりにもなまってきたなと感じてきておりこのままではまずいとスポーツジムに通いだしました。何か目標を見つけてもう一度頑張ってみようと思い行動に移しました。最近はうまくなりたいゴルフや学生時代からやっているアメフトでそれぞれ目標はあったのですが、うまく達成できていませんでした。そこで今年は体を復活させるという目標を立てました！来年の今頃にはシェイプになった自分を鏡で見ることができているでしょう。

みなさんも仕事、プライベートで目標を立て本気になって今年1年頑張りましょう！

大澤

